



2021年度 1月号
尚徳福祉会
おぐら保育園

本年もよろしくお願いいたします。お正月、ご家庭でいろいろな遊びをして過ごされたことと思います。園ではお正月遊びを楽しめるよう、カルタ、コマ、すごろく、たこなどこの時期ならではの遊びを用意し、自由に選んで遊んでいきたいと思ひます。

クリスマス制作でのエピソード

12月に入ってから、子どもたちの間ではサンタさんにどんなプレゼントをお願いするかのお話でもちきりでした。そこで期待をもって過ごす子どもたちと、靴下とサンタさんの制作をすることにしました。靴下の見本を見て、まず子どもたちの口からは「この靴下の大きさにサンタさんのプレゼント、入るかなあ！」の言葉でした。

靴下はお絵描きをしてから、縁を毛糸やリボンで紐通しして縫いました。指先を使って穴に通し、からまるリボンと格闘しながらも一生懸命作っていました。サンタさんはモールをまげて顔をつけました。それぞれの個性が溢れて味のある表情のサンタさんに仕上がり、お友だちと見比べて楽しんでいました。

サンタさんへのお手紙にお願い事を書こうと聞いてみると、それぞれにいろいろな欲しいものが上がりました。中にはすっかり4つもお願いしている子も！1年に一度のお楽しみなので、子どもたちは余念なく抜かりなく、しっかりとお願いをしていました。

鏡もち作り

初めての鏡もち作り。子どもたちは朝から興味津々。餅つき体験では威勢よく「よいしょ！」と臼と杵でつきました。給食の先生がもち米を炊いて、お餅つきの機械でもち米がクルクル回ってお餅になる様子には「わー」と歓声が上がりました。できあがったおもちを子どもたちがこねて形成しました。くるくるまるめたり、こねてみたり、お餅の感触を楽しんでいましたよ。

完成すると「いつ持って帰るの？」と子どもたち。「乾かして、固まったらね」と伝えると、1日に何度も、鏡もちをチョンと触って「まだだな」「ちょっと固まった」「そろそろいいんじゃない!？」とお餅の仕上がりを確認していました。

お知らせ・お願い

○衣服や汚れ物袋に記名のないものが増えてきています。誰の物かわからない物についてはクラスのお知らせボードに掲示していますが、持ち主が現れない場合はこちらで処分させていただきます。ご了承ください。

○お家の人の目を盗んでこっそりリュックにお家の玩具を持ってきていることが何度かあるようです。取り合いになってしまうことや、壊れてしまう事があるため、お持ちにならないよう確認をお願いします。